



目次

■年頭所感

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)会長 中島 洋 ————— 03

■巻頭特集

新春座談会 ～経済産業省情報処理振興課 東條課長を囲んで～ ————— 04

■NEW LEADERS vol.1

株式会社エー・アール・シー 代表取締役社長 太田貴之さん ————— 17

■NEWS 東西南北レポート

会員組合からの寄稿(挨拶、報告、PR、俳句) ————— 18

■平成22年JASPA活動報告

賀詞交歓会、年間の運営委員会、親睦会、スポーツ大会 ————— 25

ITソフトウェア基準法(仮称)についての要望書 ————— 27

人事情報 ————— 28

JASPA平成22年度役員名簿・広報委員会メンバーリスト・賀詞交歓会実行委員会メンバーリスト

平成23年JASPA活動予定／編集後記 ————— 30

明日の安心のために… JASPA共済

JASPA共済に是非ご加入下さい!!

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)では構成員企業の経営の安定を目指すことにより、ソフトウェア開発関連技術の向上ならびに、構成員企業相互の共済および福利厚生の実施を図る事を目的に共済事業を行っております。それが全国ソフトウェア協同組合連合会共済(JASPA共済)です。

全国ソフトウェア協同組合連合会
共済&(上乘せ)がん共済

年齢に関係なく月会費500円&1,000円の合計1,500円(1口)～のお支払いで、
会員企業の役員・従業員様の生命共済及び
幅広いがん保障が受けられます

※詳細は下記JASPA事務局迄お問合せ下さい。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)事務局
TEL:03-3473-9877【JASPA共済】
ホームページアドレス:http://www.jaspanet.or.jp E-mail:jaspa_info@jaspanet.or.jp

- 1.共済では月々一口500円の掛金(最高2口まで)で死亡時300万円の保証が受けられます
- 2.がん共済では一口1000円の掛金(最高2口まで)でがん罹患による
a.診断給付金100万円、
b.入院給付金日額1万円、
c.手術給付金(手術の種類により変動)の保証が受けられます
- 3.がん共済は既存の生命共済の上乗せ共済です(※生命共済に加入の会員が加入できます)
- 4.1年更新型です。中途解約金はありせん
- 5.会員企業単位での全員加入型のみ取扱
- 6.会費負担は会員企業(全額損金処理)

※毎年決算時に剰余金に対し配当が行われます。

年頭所感

全国ソフトウェア協同組合連合会

会長 中島 洋



日本の産業界同様、ソフト産業は今、大きな転換期です。従来のビジネスモデルが維持できず、根本からビジネスの再構築を迫られています。難題山積の中では、個別企業が独自に問題を克服するには限界があります。JASPA(全国ソフトウェア協同組合連合会)は「協同組合」の枠組みを活用して問題を打開するために団結した組織です。

JASPAの重要な行事の一つは、毎月、加盟している地方組合が幹事になって持ち回りで開催する運営委員会(拡大理事会)です。各地で開催し、各地を代表する理事メンバーが地域の組合企業を交えて情報交換をしています。各地の会員組合は、運営委員会の中で業界全体の変化を知るとともに、ソフト業界振興のための経済産業行政などの詳細情報を得ています。運営委員会には理事メンバー以外も多数、参加し、自社のソフト商品を販売する地方パートナーを募集するなどの成果を挙げています。各地のソフト企業が全国に事業展開する交流の場にもなっているわけです。

同時に、JASPAは中小ソフト業界が直面する問題を全国各地の現場から情報収集しているので、経済産業省情報処理振興課と定期的に情報交換の場を持つなど政策策定の参考情報を行政に伝える窓口です。中小ソフト業界を代表する組織として要望をまとめ、経済産業省や各政党に、業界を改善するための施策について陳情して来ました。労働者派遣法の問題でも業界に対する行政の誤解を解くために活動しました。これらの活動を反映する施策はいくつか陽の目を見ました。各地域の公正取引協議会にはJASPAや各地の組合から代表が参加し

て、意見を述べています。

また各地の運営委員会では、開催地域に拠点を構える組合各企業でそこから有益な情報や知識を交換し、時には事業を共同で展開する機会を得ています。それとともに、組合では、中小企業では個別に受注しにくい業務を組織の総合力で共同受注する事業も展開し、そのノウハウの交換も活発に行っています。中小企業を支援する各種の制度を活用するためのノウハウ交換もこれからは重要です。

さらに今後は中国をはじめとするアジア市場の急成長が日本の経済を復活させる原動力になると思われますが、JASPAではアジアで、日本のソフト産業の事業展開を進めるための協力組織として台湾の情報サービス協会と提携し、情報交換を始めています。

もちろん、こうした組合企業の結束を強めるためには胸襟を開いた交流も大切です。各地の運営委員会の際には地元組合メンバーを交えた会食やゴルフ、観光などの懇親会を開催しています。正月には、賀詞交換の場を東京で開き、全国からメンバーが集まって、監督官庁の皆さんや政界、業界幹部の皆さんと直接に懇親する機会を設けています。福利厚生や共済事業の面でも中小企業単独では難しい共同事業を有利に行えるのが強みです。

ソフト産業の構造が大きく転換する中で、情報を共有し、事業を共同で展開する機会を切り開くJASPAの存在意義はますます大きくなります。さらに感度を高めて市場構造の激変に敏感に対応し、ソフト業界の次代の発展の道を共に切り開いて行きたいと思っています。